

News Release

岩谷産業株式会社 広報部

2020年2月6日

燃料電池バスへの本格的な充電が可能な水素ステーションをオープン ～イワタニ水素ステーション 東京葛西～

岩谷産業株式会社（本社：大阪・東京、社長：谷本光博、資本金：200億円）は日本水素ステーションネットワーク合同会社（JHyM）と共同で、東京都下水道局が所管する葛西水再生センターの敷地内に、「イワタニ水素ステーション 東京葛西」を建設し、2月6日に開所式を行いました。

東京都では、水素ステーションの整備を促進し、FCV（燃料電池自動車）やFCバス（燃料電池バス）の普及に取り組んでいます。

その一環として、都用地の一部を活用しFCバス対応の水素ステーションの整備及び運営を行う事業者の公募が行われました。そこで当社が選定され、整備を進めておりました。

当社が運営するステーションとしては28カ所目、FCバスへの本格的な充電ができる水素ステーションに限ると「イワタニ水素ステーション 東京有明」に続き2カ所目となります。

本ステーションは大型車両への水素充電に対応するため、「液化水素ポンプ」を採用しています。このポンプで液状の水素を圧縮することにより、1時間当たり5台のFCバス(15kg/台)への充填が可能となります。(昇圧能力80kg/h (約900m³/h))

当社は、引き続き、FCVの早期普及およびユーザーの利便性向上に貢献するとともに、水素エネルギー社会の早期実現に向けて積極的に役割を果たしてまいります。



イワタニ水素ステーション 東京葛西

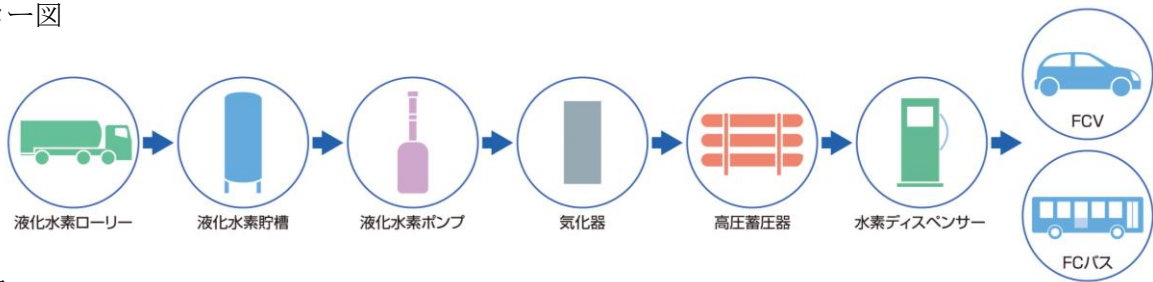
■「イワタニ水素ステーション 東京葛西」の概要

名 称 : イワタニ水素ステーション 東京葛西
 所 在 地 : 東京都江戸川区臨海町一丁目1番1の一部
 敷地面積 : 1,714.5m²
 水素供給 : 液化水素貯蔵 (オフサイト供給)
 液化水素ポンプ : 昇圧能力 80kg/h (約 900m³/h)

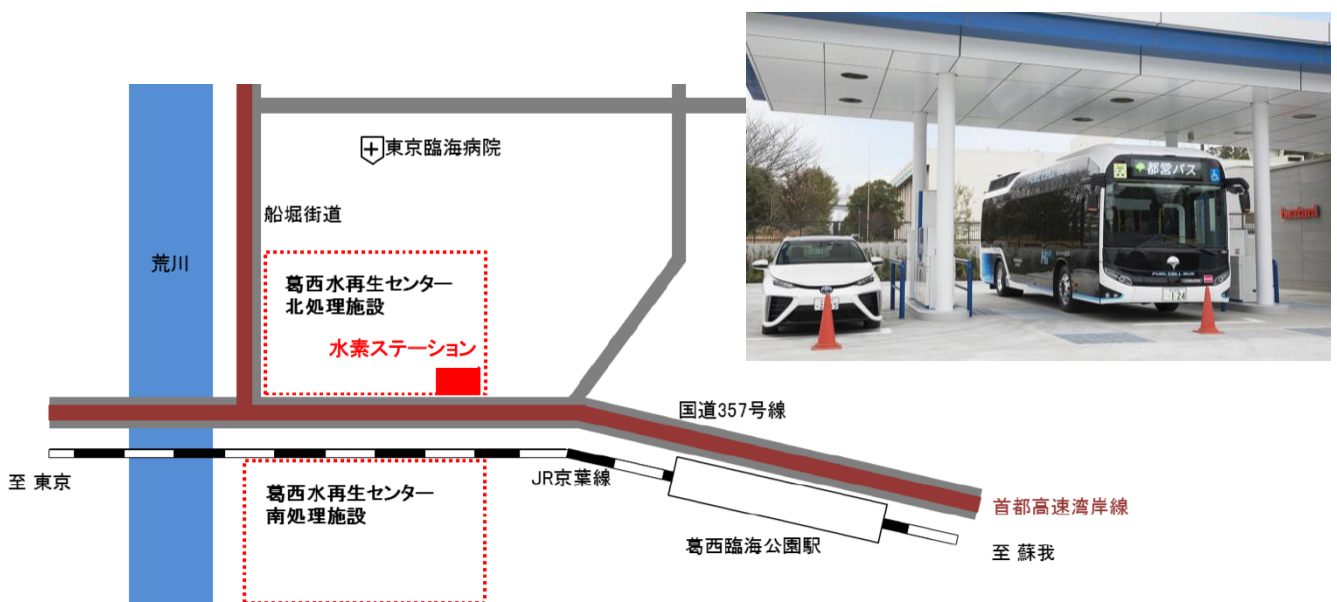
※1時間当たり 16台のFCV (5kg/台)、または1時間当たり 5台のFCバス(15kg/台)の充填が可能
 充填圧力 : 82MPa (メガパスカル) ※1MPa≒10気圧
 主要設備構成 : 液化水素貯槽、液化水素ポンプ、高圧蓄圧器、ディスペンサーなど

特 長 : 液状の水素を直接圧縮する昇圧設備を備えることで以下の特徴があります。
 ○FCバス等大型車両への本格的な水素充填が可能。
 ○コンパクトかつ高効率
 ○ポンプ直充填による連続充填が可能
 ○将来、極低温ガスの冷熱を利用し、冷凍機負荷の大幅な低減が見込める

■フロー図



■地図



以上